

2018年3月期第3四半期決算説明会 主な質疑応答（要旨）

■2018年3月期通期業績予想について

Q1：通期業績予想（営業利益1660億円）を据え置いた理由は？

A1：第3四半期は当社見通しよりも営業利益上振れとなったが、足元の燃油価格高騰や整備関連費用の動向を勘案し上方修正をするには至っていない。
ただし、現在、公表している通期業績予想は達成できる見通し。

■国際線について

Q2：単価の状況は？

A2：レベニューマネジメントや路線構成変化により、第3四半期累計で前年対比8.6%上昇。純単価は第3四半期累計で+5%、第3四半期3か月で+4%と堅調に伸ばせている。

■国内線について

Q3：第3四半期（10-12月）の単価が上昇した要因は？

A3：旅客数において個人旅客が伸びて団体旅客が前年を下回ったので、旅客構成の変化が単価上昇に寄与した。また、他社との価格競争が一段落したしたことに加え、個人ビジネス旅客需要増もあり、プラスに転じた。第4四半期においても、なんとか前年を上回りたい。

以上